

「大阪・関西万博での自動運転に向けた実証実験」に 磁気マーカシステム(GMP S)を提供

愛知製鋼株式会社(代表取締役社長:後藤尚英)は、大阪・関西万博での自動運転に向けた実証実験^{※1}に、磁気マーカシステム(GMP S)^{※2}を提供しました。

「新大阪駅・大阪駅」、「舞洲駐車場～万博会場」、「万博会場内の外周道路」の3つのルートで実施される実証実験のうち、GMP Sは、「新大阪駅・大阪駅」、「舞洲駐車場～万博会場」に使用されました。GMP Sは、上空の遮蔽物や、天候に左右されないこと等の特長により、どんな状況でも安定かつ高精度な自車位置の推定を担います。

GMP Sは、既にJR東日本気仙沼線BRT自動運転バスにて社会実装されており、少子高齢化によるドライバー不足が深刻化する中、地域交通網の維持に貢献しています。本実験を通じて、万博を契機とした大阪市での自動運転導入に貢献し、安全・安心な次世代モビリティ社会の実現に取り組んでいきます。

【実証実験概要】

○「新大阪駅・大阪駅」ルート

運行主体：阪急バス株式会社、京阪バス株式会社

場所：淀川緊急用河川敷道路の一部区間（約0.6km）

実験期間：2024年2月中旬～3月上旬

実証内容：高速道路における合流を想定した自動運転バスの走行に向けた実証。

：国内初の観光バスタイプのEV車両による自動運転の走行実証。

○「舞洲駐車場～万博会場」ルート

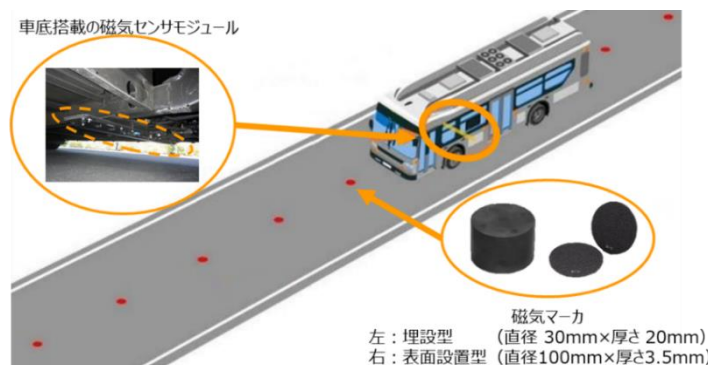
運行主体：大阪市高速電気軌道株式会社

場所：万博パーク&ライド駐車場シャトルバスが走行予定の舞洲・夢洲の公道上（約3.3km）

実験期間：2024年3月～2025年4月

実証内容：信号等インフラ設備と連携した、混在交通下での自動運転レベル4申請に向けた実証。

※実証実験中は自動運転レベル2で走行



※1 大阪市自動運転バス実装協議会 <https://www.city.osaka.lg.jp/toshikeikaku/page/0000588053.html>

実証実験資料 <https://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryo/cmsfiles/contents/0000619/619975/zissyouzikkennitsuite.pdf>

※2 当社が開発し、商品化を進めている自動運転支援システム、Global Magnetic Positioning System の略。

特設サイト：<https://www.aichi-steel.co.jp/smart/mi/gmps/index.html>

